

## 第24回国際連合人口委員会

標記の委員会 (The Twenty-fourth Session of Population Commission) が、1987年1月28日から2月6日までニューヨークの国連本部で開催された。わが国は、1959年の第10回人口委員会に初めて参加して以来、毎回代表を出席させていたが、前回委員会の後、メンバー国から外れたため、残念ながら今回の委員会に代表を出席させることができなかった。

なお、当所が得た情報による本委員会の予定された議題は次のようなものであった。

### Agenda

1. Election of officers.
2. Adoption of the agenda and other organizational matters.
3. Action by the United Nations to implement the recommendations of the World Population Conference, 1974 : monitoring of population trends and policies and review and appraisal of progress towards the implementation of the World Population Plan of Action.
4. Programme of work in the field of population for the biennium 1988-1989 and implementation of the programme budget for 1986-1987.
5. Follow-up on the recommendations of the International Conference on Population, 1984.
6. Provisional agenda for the twenty-fifth session of the Commission.
7. Adoption of the report of the Commission on its twenty-fourth session.

## 老人と子供の福利に関する国際会議

標記の会議が1987年2月12~13日に米国のワシントン市の Urban Institute で開催された。会議の原名は Workshop on The Well-being of the Aged and Children in the United States : Intertemporal and Intergenerational Perspectives. である。

この会議は Alfred P. Sloan スローン財団、ユタ大学、Urban Institute の共催で行われた。組織者はユタ大学社会科学部 Timothy Smeeding 教授、Urban Institute 上級研究員 John Palmer 博士、米国センサス局 Barbara B. Torrey 女史の3人で、出席者は35人であり、ハーバート大学の Sheldon Danziger 経済学教授、Lee Rainwater 経済学教授、Sloan 財団の人口担当者で The Fear of Declining Fertility の共著者である Michael P. Teitelbaum 博士、筆者 (河野) と日本についての論文を共同執筆した Samuel H. Preston ペンシルバニア大学教授等の名前が見られる。

会議の目的は1984年米国人口学会で前記の Preston 教授が会長演説を行った The Elderly and Youth のテーマをさらに発展させ、老人と青少年の生活の質、生活水準の比較、それらが人口学的、社会経済的要因あるいは行政的・文化的要因にいかに関与されているかを分析評価することであり、歴史的次元と国際的次元からもこれらのテーマを押し広げようとするものである。当人口研からは所長の河野稠果が出席し、前記の Samuel H. Preston 教授と共著で "Trends in Well-being among Children and the Elderly in Japan" という論文を提出した。

なお、河野はその次の週にニューヨークの国連本部人口部を訪門し、1986年9月東京で開催した International Symposium on Population Structure and Development に提出したペーパーの国連 UN Bulletin of Population による発刊について協議した。  
(河野稠果記)